

トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
ダイバーシティの推進	人権の尊重	バリューチェーン・マネジメントの強化	従業員の安全・健康・福祉の推進	魅力ある職場の実現	人材育成	グループ一丸となった社会貢献活動の推進		

バリューチェーン・マネジメントの強化 重点活動項目

関連するGRIスタンダード <ul style="list-style-type: none"> ● 102-9 ● 103-1,2 ● 308-1,2 ● 407-1 ● 408-1 ● 409-1 ● 412-3 ● 414-1,2 	関連するSDGs 
--	--

方針・考え方

近年、企業には自社グループのみならず、原料・資材の調達から廃棄・リサイクルに至るバリューチェーン全体までを含めて、人権への配慮、環境負荷の低減などのESGリスクや持続可能性への影響を把握することが求められています。また、2015年に制定した中期経営戦略「新たなステージをめざして 2.0」でも、B2B2Xやグローバル・クラウドの拡大をめざしており、今後さらにバリューチェーンがグローバルに拡大していくと予想されることから、今後バリューチェーン・マネジメントを一層強化していく必要があると考えています。

推進体制

NTTグループのバリューチェーン・マネジメントは、NTTが制定した「調達基本方針」に基づく各種ガイドラインをサプライヤの皆さまに遵守していただくことを基本としています。そのためには、サプライヤの皆さまと信頼のおけるパートナーシップを構築することが重要と考えています。2013年12月には、CSR調達をさらに進めるため「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」を制定し、このガイドラインに基づいたサプライヤのリスク評価を実施しています。また、環境に関する具体的な要請事項としては「グリーン調達ガイドライン」や「省エネ性能ガイドライン」を制定し、サプライヤの皆さまに要請事項の遵守を求めています。

調達基本方針

1. 広く国内外のサプライヤの皆さまに対し、公正に競争機会を提供するとともに、相互理解と信頼関係の構築に努めます。
2. 品質・価格・納期・安定供給を総合的に判断し、ビジネスニーズに即した競争力ある製品・サービスを、経済合理性に基づき調達します。
3. 法令や社会規範を遵守するとともに、社会への貢献のため環境・人権等に配慮した調達を実施します。

調達基本方針 <http://www.ntt.co.jp/ontime/policy/index.html>



トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
ダイバーシティの推進	人権の尊重	バリューチェーン・マネジメントの強化	従業員の安全・健康・福祉の推進	魅力ある職場の実現	人材育成	グループ一丸となった社会貢献活動の推進		

NTTグループサプライチェーンCSR推進ガイドライン

近年、サプライチェーンにおいて、長時間労働や児童労働、化学物質の不法廃棄、賄賂をはじめとした不正行為など、さまざまな問題が露見しており、企業が調達活動においても社会規範や法令を遵守し、社会的責任を果たすことが求められています。

NTTグループは、こうした状況に対し、サプライヤの皆さまと共に、調達活動における社会的責任を果たしていくため「人権・労働」「安全衛生」「環境」「公正取引・倫理」「品質・安全性」「情報セキュリティ」の6分野についてサプライヤへの具体的な要請を示した「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」を2013年12月に制定しました。

現在、このガイドラインを日本語、英語で公開し、NTTグループの国内外のサプライヤに広く発信するとともに、「調達基本方針」やNTTグループのグリーン調達に関する基本的な考え方を示した「グリーン調達ガイドライン」とあわせて公開し、サプライヤの皆さまへ遵守をお願いしています。

調達活動  <http://www.ntt.co.jp/ontime/index.html>

NTTグループサプライチェーンCSR推進ガイドライン  http://www.ntt.co.jp/ontime/img/pdf/supply_chain2.pdf


サプライヤに対する環境・社会側面に関する要請事項

「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」に基づく環境に関する要請事項として、1997年7月に制定した「グリーン調達ガイドライン」や「省エネ性能ガイドライン」を用いています。「グリーン調達ガイドライン」は、プラスチック材料の統一・選定・有害物の使用抑制・プラスチック材料名の表示・省エネ・サプライヤ評価について具体的な要請事項を示しています。また、品質・安全・環境などに配慮した製品を調達するため、環境負荷の低減を含む具体的な技術要件（テクニカル・リクワイヤメント）を制定、公開し、サプライヤの皆さまへ遵守をお願いしています。

社会側面に関する要請事項としては、紛争鉱物の不使用に向けた取り組みを推進しています。コンゴ民主共和国および隣接9ヶ国から産出される鉱物の一部は、非人道的行為を行う武装勢力の資金源となっている懸念があり、世界的な人権問題となっています。NTTグループでは調達活動における社会的責任を果たすため、2013年3月に紛争鉱物に対する基本方針として「NTTグループの紛争鉱物への対応」を公表しています。

グリーン調達ガイドライン  http://www.ntt.co.jp/ontime/img/pdf/green_j.pdf

省エネ性能ガイドライン  <http://www.ntt.co.jp/kankyo/management/guideline/energy.html>

テクニカル・リクワイヤメント  <http://www.ntt.co.jp/ontime/policy/tr/index.html>

紛争鉱物への対応  <http://www.ntt.co.jp/ontime/policy/conflict/index.html>



トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
ダイバーシティの推進	人権の尊重	バリューチェーン・マネジメントの強化	従業員の安全・健康・福祉の推進	魅力ある職場の実現	人材育成	グループ一丸となった社会貢献活動の推進		

サプライチェーンに関する「リスク評価」を実施

サプライヤ各社のCSRに対する取り組み状況について、各種ガイドラインを参考に調査を通じて把握し、社会・品質・環境など、多様な側面からリスク評価しています。今後も調査対象や調査内容、分析手法を含めて精査し、フィードバックやサプライヤの皆さまとの対話を継続していくことで、NTTグループのバリューチェーン全体でリスク低減に努めていきます。

環境・社会側面のリスクの評価

各種ガイドラインや技術要件(テクニカル・リクワイアメント)の遵守状況を確認するために、NTTグループの調達額の上位(全調達額の90%以上)を占めるサプライヤの皆さまを対象に「サプライチェーンCSR推進チェックシート」を利用した「サプライチェーンCSR調査」を実施し、環境・社会側面のリスクを評価しています。

この調査には、7つの領域(人権・労働、安全・衛生、環境、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ、社会貢献活動)を網羅する140の確認項目が含まれており、例えば、人権分野では結社の自由や団体交渉の権利行使の遵守、児童労働、強制労働に関してもモニタリングしています。サプライヤからの回答を評価し、低評価の項目が一定割合あるサプライヤや特定の項目で評価が低いサプライヤを「高サステナビリティリスクサプライヤ」と定義しています。これに定義されたサプライヤに対しては現地訪問などによる追加確認を実施し、是正措置が必要な場合には是正措置計画を策定し、その実行をモニタリングしています。この調査は1次サプライヤに対するものですが、チェック項目には2次サプライヤに対して社会的責任に関する啓発に取り組んでいることを確認する項目もあり、上流のリスクを評価しています。調査は対象サプライヤ全社へ依頼し、全社から回答をいただくことを目標としています。2017年度調査では対象サプライヤの100%へ依頼し、99%のサプライヤより回答をいただいています。

2017年度は調査に協力いただいた全てのサプライヤの皆さまへ、調査結果のフィードバックを行いました。書面調査では6社が高サステナビリティリスクサプライヤに該当しましたが、実態確認の結果、真に高いリスクがあると判断したサプライヤは0社でした。

危険回答:法令もしくは社会的に要請される規範に対し、その対応、あるいは実態の把握や管理が全くなされていないおそれのある回答
 注意回答:法令違反等にはあたらないものの、体制や方針化等が不足しているおそれのある回答

サプライチェーンCSR調査での確認項目(全140項目)

- ① CSR推進全般について(4項目)
- ② 人権・労働について(22項目)
- ③ 安全・衛生について(25項目)
- ④ 環境について(23項目)
- ⑤ 公正取引・倫理について(27項目)
- ⑥ 品質・安全性について(11項目)
- ⑦ 情報セキュリティについて(15項目)
- ⑧ その他(社会貢献活動など)(13項目)

■ サプライチェーンCSR調査結果

		2015年度	2016年度	2017年度
重要なサプライヤへのサプライチェーンCSR書面調査実施率および回収率	実施率	100%	100%	100%
	回収率	100%	100%	99%
実際にリスクが認められたサプライヤに対する是正対応の実施率		100%	100%	100%
確認された高リスクサプライヤ件数		0件	0件	0件
紛争鉱物の調査票回収率	携帯電話製品	90%	100%	100%
	その他製品	90%	95%	95%



トップメッセージ	NTTグループの概要	NTTグループのCSR	人と社会のコミュニケーション	人と地球のコミュニケーション	安心・安全なコミュニケーション	チームNTTのコミュニケーション	ガバナンス	GRIスタンダード対照表
ダイバーシティの推進	人権の尊重	バリューチェーン・マネジメントの強化	従業員の安全・健康・福祉の推進	魅力ある職場の実現	人材育成	グループ丸となった社会貢献活動の推進		

紛争鉱物に関するリスク評価

NTTグループの紛争鉱物への対応に基づき、NTT仕様の製造品・製造委託品のうち、お客さまに販売するものを対象に、紛争鉱物の使用状況について書面による調査や事務所および工場の訪問確認を実施しています。

調査は依頼したサプライヤからの回答率95%以上を目標としており、2017年度は1,082製品、169サプライヤを対象に調査を実施し、回答率の目標をクリアするとともに武装勢力の関与があると特定された製品は0件でした。また、武装勢力の関与なしと特定されたものは145件、関与が不明であるものは800件、鉱物の含有がなかったもの（報告対象外）が137件でした。サプライヤの皆さまへの情報管理の方法などに関するアンケートや意見交換を通じ、模範となるサプライヤや改善が必要なサプライヤの対応状況を把握し、さらなる回答率などの向上に向け取り組んでいます。

サプライヤとのコミュニケーション

NTTグループはサプライヤの皆さまとのコミュニケーションを通じ、双方が互いに意見や提案を交わすことでより良いパートナーシップの構築に努めています。

2018年7月からは、大地震などの災害発生時にサプライヤの皆さまの被災状況を、より迅速に把握できるシステムを導入しました。より速やか、かつ正確に情報を交換することで、これからもサプライヤの皆さまと一丸となって通信設備の早期復旧に取り組んでいきます。

また、NTTグループ各社においてもサプライヤの皆さまとのコミュニケーションに取り組んでいます。具体的には、各社を取り巻く事業環境をサプライヤの皆さまへ説明するとともに、引き続き、競争力があり品質に優れた製品を安定的に供給していただけるよう意見交換しています。

VA提案制度とサプライヤ表彰制度

NTT東日本およびNTT西日本では、品質や安全性・施工性の向上、環境保護への寄与などの改善をサプライヤの皆さまからご提案いただき、それを仕様に反映させる活動（VA: Value Analysis）を実施しており、優良な提案をいただいたサプライヤに対しては表彰を実施しています。またサプライヤの皆さまが開催する改善発表会へ参画するなど、サプライヤの皆さまとの対話、協力による改善に取り組んでいます。

2006年度から、シンプルな受付体制をめざし窓口を一本化、また、通信建設会社とサプライヤのVE (Value Engineering) & VA提案など新たなスキームを加え、改善活動をさらに発展させるための環境を整えました。今後とも、製品やサービスの維持向上に向けた取り組みを積極的に進めていきます。